

1/17.3.52

寺田氏「後援会担当が宛名」

參院特委
井上氏

領収書偽造疑惑を追及

日本共产党の井上哲士議員は16日の参院政治倫理選舉特別委員会で、寺田稔総務相の関連政治団体での「寺田



この問題では、市田
穂竹原後援会の收支報
告書に添付された領收
書1枚の宛名の筆跡が
酷似しているとして、
塙川鉄也衆院議員が衆
院の質疑で確認を求める

「槍」が宛名になつた領収書の偽造疑惑を追及しました。寺田総務相は、後援会の事務担当者が書いた手記を認めた。

寺田穂と書かれた筆跡が酷似している、選挙運動費用収支報告書に添付された領収書（一部画像を加工、井上事務所提供）

ていました。井上氏から再確認された寺田総務相は「領収書の宛名を書いたのは後援金の事務担当者である」と認めた上で、「発行者からの追記の要請を受けて宛名が空欄の領収書を受け取って記載した」と答弁。問題はないと開き直りました。

井上氏は、総務省の政治資金適正化委員会

が出した政治資金に関するQ&Aで「国会議員関係政治団体側で記すべき」とは適切でない」と書かれていたと批判しました。

されど、昨年の総選挙の選舉運動収支報告書に添付された領收書77枚にも偽造疑惑があると指摘。竹原後援会の領收書と筆跡が酷似したものがあるとして、

「大臣の選舉取扱報告書」に關与している人が、竹原後援会にも關与している。(これまで大臣が述べてきた竹原後援会に關して、「田中は一切關与していない」といふことは事実と違う)「政治資金の透明性を確保する規正法を所管している大臣に値しない」と強調しました。